

提案状況

(H18.11.30締切り、単位:件)

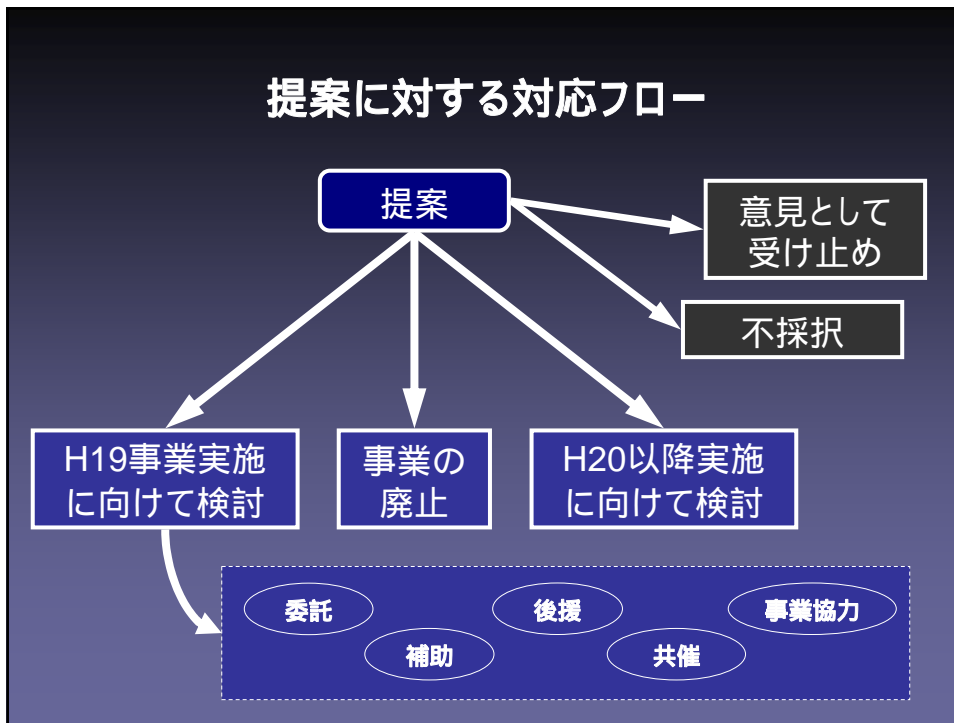
	CSO	企業	大学	合計
県内	183	81	5	269
県外	2	99	1	102
(うち九州外)	(-)	(84)	(1)	(85)
合計	185	180	6	371

複数の担当課にまたがる提案は、担当課の数だけ提案があったものとして算定している。
提案書の数は361件。

提案のあった業務(主なもの)

- ◆暮らし環境分野
 - CSOによる子育て相談業務
 - CSOによる海上浮遊ゴミの除去活動業務
- ◆福祉分野
 - 障害者の通所作業所でのデータ入力業務
- ◆経済分野
 - 債権回収業務(サービサーへの包括委託)
 - 公用車の集中管理業務(車両運行管理事業者への委託)
- ◆情報分野
 - 高校総体動画配信業務
 - 公共ネットワークの包括的運営業務

提案に対する対応フロー



採否の結果

(単位:件)

総提案数:371(複数本部にまたがる案件10)



新聞報道

版
市
場
化
テ
ス
ト

参入提案 197件採用

コストの官民比較課題

佐賀県は、民間企業に公共交通機関の運営を委託する際の「コスト削減」を課題として、民間企業からの参入提案を募集した。その結果、197件の提案を採用し、コスト削減の課題に取り組むことになった。

佐賀県は、公共交通機関の運営コスト削減を課題として、民間企業からの参入提案を募集した。その結果、197件の提案を採用し、コスト削減の課題に取り組むことになった。

佐賀県は、公共交通機関の運営コスト削減を課題として、民間企業からの参入提案を募集した。その結果、197件の提案を採用し、コスト削減の課題に取り組むことになった。

2007.2.17
日本経済新聞

07年度 25事業を民間開放

佐賀県は、07年度に25事業を民間開放する方針を明らかにした。これは、公共交通機関の運営コスト削減を課題として、民間企業からの参入提案を募集した結果、197件の提案を採用し、コスト削減の課題に取り組むことになった。

佐賀県 27事業委託

協働化テスト
新年度から 県庁受付や人権啓発

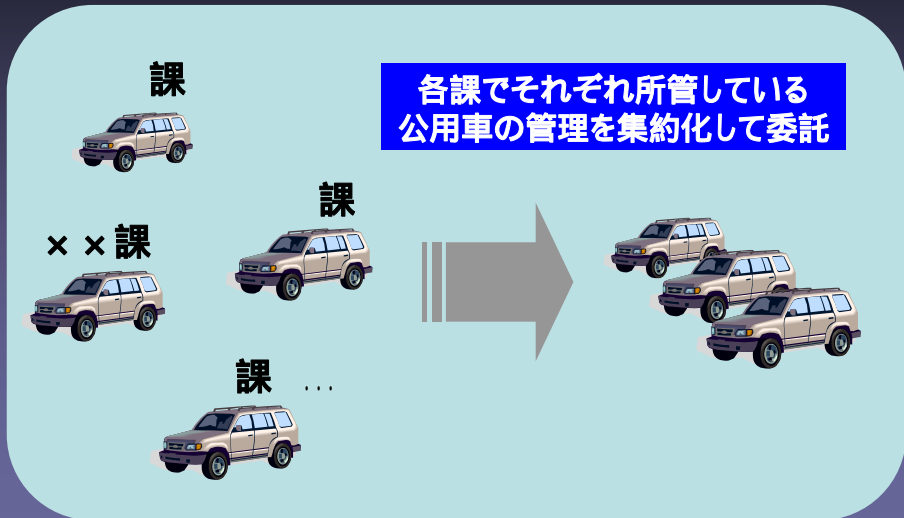
佐賀県は、07年度に27事業を民間委託する方針を明らかにした。これは、公共交通機関の運営コスト削減を課題として、民間企業からの参入提案を募集した結果、197件の提案を採用し、コスト削減の課題に取り組むことになった。

佐賀県は、07年度に27事業を民間委託する方針を明らかにした。これは、公共交通機関の運営コスト削減を課題として、民間企業からの参入提案を募集した結果、197件の提案を採用し、コスト削減の課題に取り組むことになった。

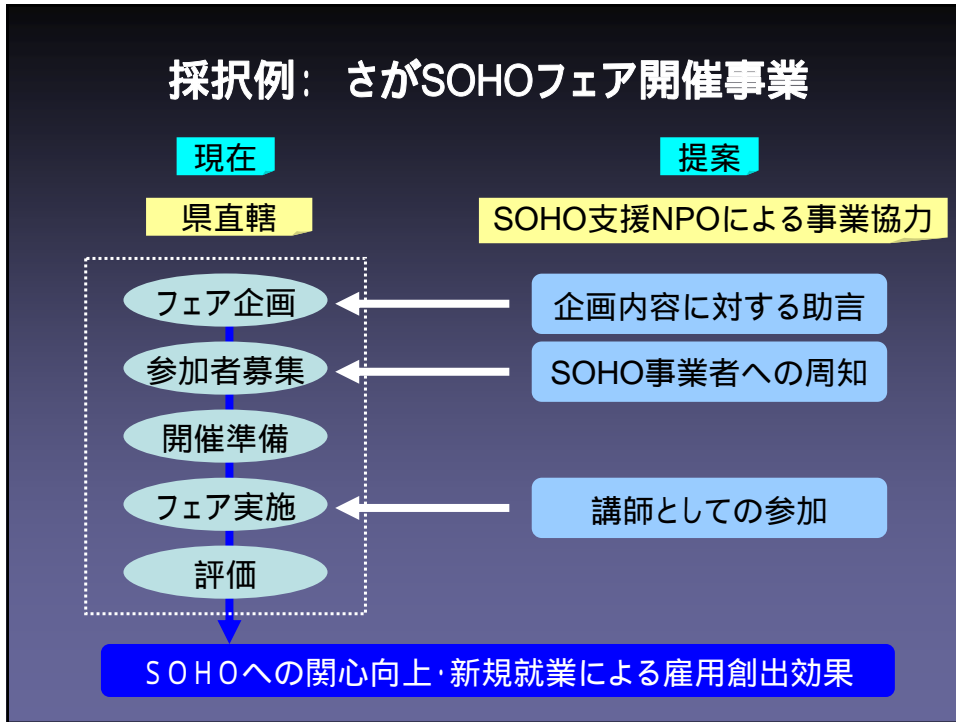
佐賀県は、07年度に27事業を民間委託する方針を明らかにした。これは、公共交通機関の運営コスト削減を課題として、民間企業からの参入提案を募集した結果、197件の提案を採用し、コスト削減の課題に取り組むことになった。

2007.2.17
読売新聞

採択例： 公用車の集中管理・外部委託化



採択例： さがSOHOフェア開催事業



採択例： さが農村のよさ発掘・醸成事業

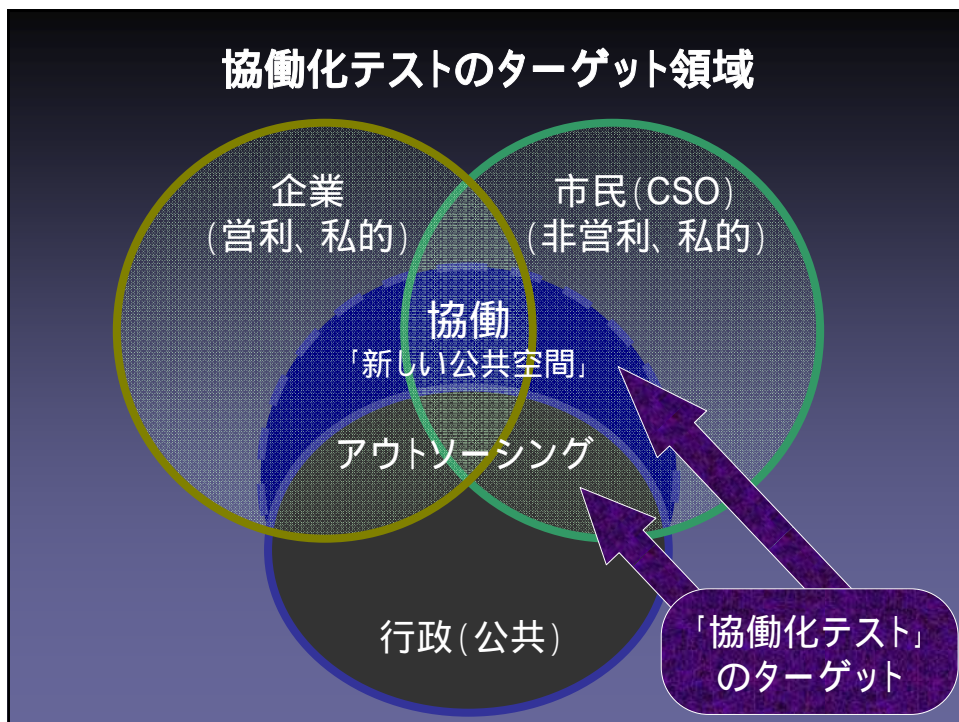
協働化テストにより・・・棚田保全活動に対する、棚田地域と都市住民等とのコーディネート及び広報・啓発活動等をCSOに委託



協働化テストのこれまでの成果

- 「公共サービス」の新しい担い手が多数出現
- 民間と行政との多様な協働関係が創出
- 「民間の物差し」による組織横断的な業務改革が始動
- 民間提案者・職員双方から「次年度以降も続けていこう」という評価

協働化テストのターゲット領域



協働化テストで得られた新しい課題

- トータルコスト算定による厳密な分析が必要
- CSOと外郭団体の公平な競争条件(イコールフットィング)の確保が必要
- 審議会運営など内部事務については、さらなる外部化の余地

